

一 般 質 問 通 告 表

ページ

①	田 原 実	1	(12月6日予定)
②	保 坂 悟	2	(〃)
③	伊 藤 麗	5	(〃)
④	和 泉 克 彦	6	(〃)
⑤	利 根 川 正	8	(〃)
⑥	東 野 恭 行	11	(12月9日予定)
⑦	田 中 立 一	12	(〃)
⑧	近 藤 新 二	14	(〃)
⑨	新 保 峰 孝	15	(〃)
⑩	加 藤 康 太 郎	17	(〃)
⑪	阿 部 裕 和	19	(12月10日予定)
⑫	渡 辺 栄 一	20	(〃)
⑬	田 原 洋 子	22	(〃)
⑭	古 畑 浩 一	25	(〃)

令和6年第4回市議会定例会 (12月)

質 問 事 項

① 田 原 実

1 医療と防災のまち、市民が安心して住めるまち糸魚川へ！

【答弁者：市長】

(1) 医療対応について以下伺います。

- ① 5年後、10年後の糸魚川地域医療体制を市民と共有できていますか。
- ② 市長が繰り返し答弁されてきた糸魚川市に必要な医療とは何ですか。
- ③ 市長が選挙公約とした看護師育成機関の設置は進んでいますか。
- ④ 薬草栽培で稼ぐ「医療のジオパーク」を進めてはいかがですか。

(2) 防災対応について以下伺います。

- ① 未曾有の災害への備えはできていますか。
- ② 防災士、防災アプリの活用は進んでいますか。
- ③ 県との連携は密ですか、いざというときに救済チームは派遣されますか。
- ④ 国から支援を受けて「防災のジオパーク」を進めてはいかがですか。

2 スポーツ交流、文化交流、鉄道で人を呼ぶ仕掛けで糸魚川を元気に！

【答弁者：市長】

(1) スポーツ振興、スポーツ交流について以下伺います。

- ① 市民や各種団体との連携や協働で成果、効果を出していますか。
- ② 相撲が脚光を浴びています。糸魚川ならではの交流人口増大に結び付く提案を市職員全員から出していただいて、理解を進めてはいかがですか。

(2) 文化振興、文化交流について以下伺います。

- ① 市民や各種団体との連携や協働で成果、効果を出していますか。
- ② 文化資源やアーカイブスの活用は常にアップデートされていますか。新しい時代を感じられるよう工夫をし、若者たちを主役に活動を進めていますか。

(3) 鉄道で駅とまちに人を呼ぶ仕掛けなどの取組について以下伺います。

- ① 鉄道で糸魚川へ訪れる人をどのように増やしていますか。
- ② 大糸線全線開通70周年への取組はいかがですか。
- ③ えちご押上ひすい海岸駅及び周辺整備は約束どおり進みましたか。
- ④ アニメ、スマホアプリ、イルミネーション等を活用して駅や鉄道利用者を増やす私からの提案は具体化しましたか、またこれからどうなりますか、伺います。

質 問 事 項

3 駅北子育て支援複合施設の必要性、市民・住民との合意形成について

【答弁者：市長】

(1) 前回の一般質問にて、以下の複合施設の優れている点をよく検討して計画を進めてほしいと要望しました。市長は何を学び、何を取り入れていこうとしていますか。教育委員会や担当課にどのような指示をしましたか、伺います。

- ① 長野県塩尻市の公民館図書館等複合施設「えんてらす」
- ② 富山県黒部市の図書館複合施設「あおーよ」
- ③ 群馬県太田市の図書館・美術館複合施設「太田市美術館」

(2) 市長の判断で、こどもの数が減っていく中での建設と運営に巨額の支出をしていくことについて、市民・住民と合意形成できましたか、伺います。

② 保 坂 悟

1 防災・減災について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 小中学校体育館等へのエアコン設置について

- ① 新年度に向けて、エアコン設置への検討はどうか。
- ② 災害時の対応として、LPガス（プロパンガス）を併設することで、停電時でも稼働できるようにすることは検討しているか。
- ③ エアコンの電力として、太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーの検討をしているか。

(2) 感震ブレーカーの周知と設置補助制度の創設について

地震による火災の約6割は電気が原因と言われ、通電火災への対策が必要である。また、地震による停電の復旧時に発生する火災にも感震ブレーカーは有効であることから、周知と制度導入の考えはあるか。

(3) 防災士の資格取得経費の補助制度で、対象者を拡充する考えはあるか。

(4) 避難所運営について

①配慮が必要な方への対応②女性・子どもへの配慮③防犯対策④ペットの対応の4項目について、それぞれに力を入れていることはあるか。

(5) トイレトレーラーの導入を考えているか。

(6) 自動車避難を想定した津波避難道の整備計画を考えているか。

質 問 事 項

2 学校図書館の体制強化について

【答弁者：市長、教育長】

読書好きの子どもを育てることは、子どもたちの可能性を広げることになる。そこで読書の楽しみ方をレクチャーする学校図書館の楽しい活動を積極的に展開する取組に着目している。

(1) 学校司書について

- ① 学校司書の研修を積極的に取り組むことを考えているか。
- ② 学校司書の増員は考えているか。
- ③ 学校司書を会計年度職員から正職員にする考えはあるか。
- ④ 司書の資格がない方に資格取得の支援は考えているか。

(2) 長期休暇の活用について

- ① 夏休みに子どもたちに開かれた図書活動を展開する計画はあるか。
- ② 夏休みを図書館司書による「子どもたちの好奇心に火をつける期間」として取り組む考えはあるか。
- ③ 田沢地区公民館主催の「絵本でSDGs」の活動やSDGsの理念を反映させた糸魚川市総合計画と世界ジオパークの取組を連動させてユネスコスクールに加盟する考えはあるか。
- ④ 夏休み期間を使って図書館司書のスキルアップのため、各種研修に参加させる取組は考えているか。

3 「誰一人取り残さない」SDGsの取組について

【答弁者：市長】

(1) 以前取り上げた、化学物質過敏症をはじめとした難病指定に至らない方たちへの支援と理解への周知について

具体的には災害時の避難方法や日常生活に支障をきたす場合に、精神障害者保健福祉手帳の交付への専門的なアドバイスの提供はできるか。

(2) 認知症患者とその家族への支援について

具体的には認知症の方が入所できる施設は、グループホーム、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームの4種類あるが、認知症の度合いと家族の精神的・経済的負担等を考慮した新しい施設の検討や支援制度を検討することはできないか。

(3) 老々介護者への支援について

- ① 未婚者による老々介護の家庭に対する精神的・経済的支援の拡充は考えているか。
- ② 引きこもり世帯に対する支援はどのように行っているか。

質 問 事 項

(4) 大人の発達障がい者への支援について

「生きづらさ」を感じている方の把握は難しいと思うが、生活や仕事における様々なトラブルを回避するために専門家による相談窓口が必要と考えるが、積極的に取り組む考えはあるか。

4 行政改革について

【答弁者：市長、教育長】

(1) 市職員の職場環境の整備について

- ① 健全な行政運営を行うには、公益通報制度とその通報者保護の強化が最も重要と考える。官製談合以降に何か工夫はされているか。
- ② 東京都では職員を守るために「カスタマーハラスメント防止条例」を令和7年4月から施行するが、当市において検討する考えはあるか。

(2) 道路整備と法面等の工夫について

除雪会議や観光シーズンになると毎回話題になるのは、道路法面の伸びた草木の伐採です。シルバー人材センターや建設業の人手不足により、慢性的な遅れを感じている。除草シートの活用や道路からの一定距離の樹木を伐採するルール作りの考えはあるか。

(3) 公共施設の統廃合と持続可能なまちづくりについて

単なるコンパクトシティー化ではなく、防災公園の整備、多様な学びを提供する施設、自然を生かした教育や体験観光の推進、新幹線駅を活用した首都圏との二拠点生活の推進とそれに伴う駅周辺整備を盛り込んだプロジェクトを立ち上げる考えはあるか。

(4) 子どもや若者の政策提言を受ける機会の創設を考えているか。

質 問 事 項

③ 伊 藤 麗

1 地域医療について

【答弁者：市長】

糸魚川総合病院とその後協議は行われたか、存続のために検討されている支援策はあるか伺います。

2 誰でもいきいき働く環境の整備の必要性について

【答弁者：市長】

先の衆議院選挙で「手取りを増やす」のキャッチフレーズで国民民主党が議席をのばし、年収の壁の引上げについて議論が行われています。働くシニアの年金減額の緩和を盛り込んだ改革案も厚生労働省より示されており、当市においても、人口減少による働き手の確保は大きな課題であります。よって、働く意欲のあるひとが働き、一人ひとりが活躍のできる環境整備が必要であることから以下伺います。

- (1) 若者や女性の働きやすい職場について、市としての認識を伺います。
- (2) 障がいをお持ちの方の働く環境について、現状の認識と課題を伺います。
- (3) シニアが働き続けるために市として行っている支援はあるか伺います。

3 子育て支援について

【答弁者：教育長】

令和6年4月に児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、子育て支援や自立支援、障がい児支援が強化されました。

児童福祉法の改正ポイントに則り、糸魚川市の子育て支援の現状とこれからについて伺います。

- (1) こども家庭センターの包括的な支援体制の強化・拡充について、現状の取組を伺います。
- (2) 自立支援の強化について、現状の取組を伺います。
- (3) 里親支援センターの設置について、考えがあるか伺います。

④ 和 泉 克 彦

1 糸魚川市と台湾との関係について

【答弁者：市長】

糸魚川市が持続可能な発展を遂げていくためには、国内外を問わず、多様な地域や人々と協力しながら、「現にある『ヒト・モノ・カネ・情報』等の経営資源を使って、それらの合計以上の成果を生み出す」ことが重要であると考えます。その中で、台湾との関係強化は当市の発展にとって大きな可能性を秘めたテーマであり、その意義を改めて見つめ直す必要があると考えております。

まず、台湾は地理的に非常に近く、飛行機で数時間の距離にあることから、経済的、文化的な交流が非常にしやすい地域です。また、歴史的にも台湾と日本は深い関わりを持っています。戦前に日本からは人材を送り込み、水力発電所、道路、港湾整備などのインフラ投資、農業や鉱工業などの産業開発、大学設立等の教育投資などを行いました。その資産は今でも使われており、日本を尊敬する台湾人も少なくありません。このような背景から、台湾は非常に親日的であることでも知られ、多くの台湾人が日本文化に親しみを持っています。

さらに、防災分野における台湾との協力にも注目すべきです。台湾は日本と同様に、地震や台風などの自然災害が頻発する地域であり、災害対策の経験や技術を共有することで、双方の防災力を向上させることができると考えております。特に、本年4月3日に発生した台湾花蓮地震では、避難所などでの迅速な災害対応が日本でも話題となりました。台湾との交流を通して、こうした災害対応のノウハウも高めていくことができます。また、この地震の際は、日本から緊急支援チームも派遣されましたが、一方で、本年1月の能登半島地震でも台湾から支援チームが駆けつけました。こうした日本と台湾で互いに助け合う伝統は、東日本大震災や1999年の台湾中部大地震から続くものですが、地方都市レベルで交流を強化することで、こうした伝統をより深化・発展させていくことができるのではないのでしょうか。

そこで、以下、伺います。

(1) 「台湾有事」の際の当市としての対応について

- ① 当市の市民で、台湾や中国に観光や仕事等の目的で、訪問ないし定住する方の人数を把握していますでしょうか、伺います。
- ② 台湾有事の際、当市や市民にどのような影響が出るとお考えでしょうか、またそれに対して、どのような対策が考えられるでしょうか、伺います。
- ③ 「ウクライナ戦争」などを分析すると、台湾有事の際に、大規模なサイバー攻撃が行われることが予想されます。有事の際は、その地域から遠隔であって

質 問 事 項

も、通信システムなどに支障をきたすことがあると言われてしています。そこで、当市としても対応を検討すべきではないかと思われませんが、いかがでしょうか。特に、重要なインフラ（電力、水道、通信など）が攻撃された場合の対策計画を策定していますでしょうか、伺います。

④ 台湾有事の際には、当市として沖縄等の南西諸島の住民や台湾からの避難の受け入れを検討すべきと考えますがいかがでしょうか、伺います。

⑤ 全国の自治体の中には災害に関して企業等の事業継続計画（BCP）策定の支援を行っていますが、当市において災害に加えて国際的な地政学的リスクにも対応したBCPの策定を支援し、地元企業を守る取組を行うのはいかがでしょうか、伺います。

(2) 当市と台湾との関係強化の重要性について

① 米田市長は台湾をどのように位置づけ、当市との関係の重要性をどのように捉えておられるでしょうか、伺います。

② 現在、当市と台湾とは、ジオパークでのつながりがありますが、これ以外での観光・文化・スポーツ・教育など、どのような分野で台湾との関係強化が可能とお考えでしょうか、伺います。

③ 台湾は日本の重要な経済パートナーであり、多くの自治体でも工場誘致や観光振興等の経済協力を行っています。当市として台湾との経済交流をどのようにお考えでしょうか、伺います。

④ 当市と台湾の都市との姉妹・友好交流都市を結ぶなどの連携について、米田市長のお考えを伺います。

2 糸魚川市における地域公共交通の現状と課題について

【答弁者：市長】

今年3月の北陸新幹線敦賀延伸や、えちごトキめき鉄道で大関・大の里関らのラッピング列車が走ったり、JR大糸線に観光リゾート列車雪月花が乗り入れたりなどと、話題が豊富な1年となっていますが、これらを含めた地域公共交通が糸魚川市にもたらす影響について、以下、伺います。

(1) 北陸新幹線敦賀延伸に伴う当市への波及効果についてどのように分析されているのか、伺います。

(2) 大糸線増便バスの途中経過と今後について伺います。

(3) 観光リゾート列車雪月花の大糸線乗り入れの効果と大糸線の将来展望について伺います。

(4) 今年の8月1日～10月12日までに行われた電動キックボードやレンタサイクルの社会実証の結果と今後について伺います。

(5) 先般示されました令和7年度からの「糸魚川市地域公共交通計画（マスタープ

質 問 事 項

ラン)」案について、以下、伺います。

- ① この計画の計画期間が、令和7年度から令和16年度までの10年間とされています。交通システム等は日進月歩で変化するものですが、この計画期間に起こり得るであろう事象に柔軟に対応できるとお考えでしょうか、伺います。
- ② 計画にある「目指す将来の交通網イメージ」として、路線バス以外のエリア、特に、中山間地域における共助による移動手段の確保とありますが、現状の運転者不足や更なる高齢化で、中山間地域における「共助」が成り立つものなのか伺います。

⑤ 利根川 正

1 令和6年度の稲作の現状と安定供給について

【答弁者：市長】

日本の食料自給率は、カロリーベースで38%と低く、依然輸入に頼っている現状です。その中で自給率の高い米は、この夏品薄となり、いろいろな条件が重なり、令和の米騒動が起きました。現在米の価格は高値で推移しています。

消費者にとっては、物価がさらに上がり大変ですが、農家は、正常の価格になり、今後の継続と後継者問題、地方の所得向上を考えると、この価格を維持できるようにしなければなりません。

現在米騒動から3か月が経っても、値下がりする要因が無く、卸業者、JAもこの先の不安から、少しでも確保しようと動いています。また、飲食店からは、1年間の数量確保を契約する動きもあり、糸魚川市内の生産者も販売する米が無い状態です。これらを踏まえ、以下の点について伺います。

- (1) 糸魚川市は今年の米の概算金(仮払金)60kg当たり19,100円をどのように考えているか伺います。
- (2) 米の不足が来年も考えられますが、糸魚川市はJA、米業者の在庫量などを把握しているか伺います。
- (3) 糸魚川市の令和7年度の主食用米の作付面積の傾向と、米農家の現状をどのように捉えているか伺います。
- (4) 農地の維持、景観等を守るべく、中山間地域等直接支払交付金制度、多面的機能支払制度が令和7年に更新の時期になりますが、参加団体の変化等があるか伺います。

質 問 事 項

- (5) 米価の値上げに伴い、今後若い農業従事者を増やすためには、どのような考えがあるか伺います。
- (6) J Aでは今年度 J-クレジット制度を活用して、中干し期間を7日間延長すると30%ほどのメタンガスを削減する栽培方法を導入しましたが、どのくらいの成果があったか伺います。
- (7) J A上越地区では、労働時間やコスト削減にV溝直播を実施しているが、糸魚川市でもこの方法を進めていく考えはあるか伺います。
- (8) 糸魚川市もふるさと納税で、米を主力に2030年までに20億円達成できないか伺います。

2 J A新潟厚生連糸魚川総合病院の医療体制の確保について

【答弁者：市長】

J A組合員へのお知らせで、地域医療提供体制の維持と事業運営のために、経営状況と経営改革についての文章が配られました。その中で令和5年度決算は過去最大の35億円の損失金計上となり、この状況が継続した場合には、令和6年度は60億円からの損失金の計上が見込まれるとありました。

経営改革を進めなければ令和7年度にも資金が枯渇し、病院等事業が困難になる恐れがあるとしています。その原因として、人口の減少、新型コロナによる受診行動の変化、診療報酬の改定への対応のための在院日数短縮による患者数の減少、また、診療報酬が平成28年以降引き下げられていて、影響が大きく出ています。

今回の経営改革方針のもとに改革対策をスタートさせましたが、あまりにも遅いと思います。糸魚川市にも更なる財政支援の要請に來られましたが、どのような対応が可能なのか、以下伺います。

- (1) 中長期的対策として不採算医療、非常勤診療の在り方を修正し、協議するとありますが、どのような協議が行われたか伺います。
- (2) 病床数、機能の見直しを行うとありますが、上越地域医療構想調整会議で糸魚川市の必要病床数の推計を示されました。2023年度は、急性期165の病床数のうち、回復期患者が入院している実態が報告され、2025年度の必要急性期病床数は34床と示されていて、回復期は157床で、今後どのように機能を調整し、話し合いされるのか伺います。
- (3) 医師、看護師の人材不足の中、管理職手当の削減は、必要と考えますが、J A新潟厚生連職員の賞与支給も下がっている状況では、更なる看護師、事務員の不足が生じると考えます、糸魚川市の考えを伺います。
- (4) 県は12月中に県内で11病院を運営するJ A新潟厚生連の経営危機に県が財政支援する方向で検討に入りましたが、地域医療連携推進協議会の会長、米田市長はどのように捉えているか伺います。

質 問 事 項

(5) 糸魚川市も J A新潟厚生連糸魚川総合病院の経営改善計画を分析して、改善を進めていくべきと思いますが、見解を伺います。

3 防災減災の実施に向けた取組について

【答弁者：市長】

今年1月の能登半島地震後、9月に石川県能登豪雨により再び大きな被害が発生しました。大雨特別警報が発令されていた中、裏山が崩れ、土石流が家の中に流れ込んできて、また、27の河川が氾濫し、家は泥に覆われ、地震の被害よりひどい状況になりました。

このような災害が糸魚川市でも起きる可能性があり、対策を打つべきと思います。以下、糸魚川市の考えを伺います。

- (1) 土石流では、倒木により橋がせき止められ、水の行き場がなくなり、自宅に押し寄せて被害が大きくなっています。本流支流域の河川の木の伐採を早く進めるべきと思います。市の考えを伺います。
- (2) 土石流は、平成8年12月6日の蒲原沢での発生、また来海沢でも起きています。近年、砂防ダムの老朽化や土砂がたまっていて防災の機能を果たしていない現状です。糸魚川市は、どのように考えているか伺います。
- (3) 政府は、自治体の防災備蓄品に対しての導入補助に乗り出す考えで、特に簡易トイレ、水の保管は重要と考えますが、市の備蓄品に関する考えを伺います。
- (4) 高齢者の一人暮らしが増えている中、1981年以前の旧耐震住宅は耐震化する必要があり、どのように進めていくのか伺います。

質 問 事 項

⑥ 東 野 恭 行

1 公共工事入札の不調・不落の原因と対応策について

【答弁者：市長】

- (1) 公共工事の入札に参加する事業者がおらず、落札者が決まらないときの対応策を伺います。
- (2) 公共事業の入札に参加した事業者の入札価格が予定価格を超え、落札者が決まらないときの対応策を伺います。
- (3) 再度公告入札、再度入札の概念について伺います。
- (4) 入札不落の場合に例外的に行われる不落随契について伺います。

2 糸魚川市におけるUターン施策について

【答弁者：市長】

- (1) 糸魚川市にUターンしてくれる人材について、Uターンする理由や動機など、糸魚川市はどのように分析しているか伺います。
- (2) 糸魚川市内の賃貸物件に入居するUIターン者に、家賃の1/2を最大2年間補助する制度があるが、高卒で、市内で就職し、一人暮らしを検討する学生に対し、家賃補助の検討はあるか伺います。
- (3) 将来、糸魚川市内で医療や介護分野の業務に従事しようとする学生に対し、修学資金を貸与する制度があり、一定条件により、その返還が免除になる制度があるが、修学資金の利用状況と、Uターンの見込みについて伺います。
- (4) UIターン修学資金返済支援事業補助金の利用実績と、制度利用者の今後の見通しについて伺います。

3 新成人を祝う会について

【答弁者：市長】

- (1) 令和4年4月1日より、民法改正により成人年齢が18歳となりました。令和6年度（令和6年11月4日（月・祝））に開催された新成人を祝う会（成人式）の参加者数と開催時期の適正について伺います。
- (2) 令和7年度の新成人を祝う会の、開催内容の検討について伺います。

⑦ 田 中 立 一

1 防災について

【答弁者：市長】

能登半島地震から間もなく1年が経とうとしており、次第に治まりが見えてきたかに思えたが、先月26日には震度5弱（糸魚川は震度3）の地震が発生した。

元日の地震では多くの市民が避難し、市内で初めて液状化現象が見られ、擁壁が崩落し、住宅も各地で被害を受けた。

また、下水道管も数か所損傷するなど、生活インフラにも影響があり、最近になって地震が原因と見られる農道の崩落なども発生していることから、能登半島地震の教訓をどのように捉え、検証し、見直しをしているか、以下伺う。

(1) 液状化と擁壁の崩落について

- ① 液状化被害を受けた住宅は最終的に何件で、液状化調査は能生・青海でも行われたか。
- ② 今後、液状化のおそれのある地域への対応はどのように考えているか。
- ③ 京ヶ峰地区の擁壁崩落は「空積み」が原因と聞くが、市内に同様の「空積み」の擁壁についての調査は行われたか。

(2) 避難施設と運営について

- ① 施設の収容数を超えた避難者の場合の想定と対応について
- ② 私設の自主避難所への支援について
- ③ 「避難指示発令」以外に発令等見直しの検討をしていることはあるか。
- ④ 自宅等避難施設以外の避難者把握に対する考えについて
- ⑤ ペット同行避難の庁内関係各課、保健所の連携と避難訓練について

(3) 耐震シェルター・防災ベッドの普及について

- ① 耐震シェルターの申込状況を伺う。
- ② 能登半島地震後の耐震診断について、申込状況を伺う。

(4) 上下水道設備の耐震化について

能登半島地震では「水」が使えることの重要性・公共性が改めて認識され、教訓にして上下水道の地震対策を強化・加速化するため、国土交通省は9月末、水道事業を担う市町村ごとに「水道カルテ」を作成し、年内をめどに公表すると明らかにした。水道管などの耐震化率や料金水準が簡単に把握できるようにするという。

- ① 市内の上下水道の耐震化の状況について伺う。
- ② 災害に強く、持続可能な上下水道システムの構築に向けて「上下水道耐震化

質 問 事 項

計画」の策定取組について伺う。

2 古民家について

【答弁者：市長】

人口が減り、集落に空き家が増え、環境悪化や治安の悪化などで周辺住民にとって大きな課題になっている。

一方で、建築年数が50年以上、中には100年以上経っている古民家と言われる建物は、現在では使われない太い柱や梁などを用い、建材が味わい深い趣を作り出しているところから、店舗等に重宝されている。

市内にこのような古民家がまだ多く存在しており、空き家になっているモノもあるのではないかと。

個人の所有物であるが、地域の歴史的、文化的な貴重な資源として保存、利活用する取組について考えを伺う。

3 農業政策について

【答弁者：市長】

(1) 来年度の主食用米の生産量目標と作付面積目標について

新潟県農業再生協議会は米の品薄を受け、本年産目標を16,400トン上回る56万2,400トンにすると公表した。糸魚川市は本年、県内で唯一前年産より目標を下に設定したが、来年度の目標をどう考えるか伺う。

(2) 第6期中山間地域等直接支払制度について

集落機能を強化し、コミュニティとしての維持を意図して第5期の「集落機能強化加算」が措置されたと言われるが、第6期では見直しされる報道がある。第5期との違いと第6期に対する取組状況を伺う。

質 問 事 項

⑧ 近 藤 新 二

1 糸魚川市が管理する遊具の管理状況について

【答弁者：市長、教育長】

11月7日、久留米市の小学校で、児童が運動場に設置された「ろくぼく」と呼ばれる金属製のはしご状の遊具で遊んでいたところ、およそ1m60cmの高さに固定されているはずの鉄棒が回転し、手を滑らせて地面に落下し、腰の骨を折るけがをしたとニュースで報じられました。

市教育委員会は、鉄棒が回転したのは柱との接合部分がさびで劣化したことが原因だとしています。この遊具は去年12月に定期点検を行い、その際には異常は確認されなかったということですが、市教育委員会は、「管理に不備があった」と公表されています。事故後、市立小学校のすべての遊具を点検したところ、ほかの2校の遊具でも劣化が見つかり使用を中止しました。市教育委員会は、けがをした児童とご家族に陳謝し、今後、点検を徹底し、遊具の安全な維持管理に努めると報じられていました。しかし久留米市では、ことし8月と10月にも市が管理する公園の遊具で子どもがけがをする事故が起きています。事前に発生した事故の教訓と再発防止対策がされておらず問題視されています。

全国的に公園や施設の遊具には、安全基準を満たしていない遊具が存在すると言われていています。また、遊具は経年や雨風により劣化し、怪我や事故につながる危険も高まっています。そのような遊具を早期に発見し、重大な事故につながる危険を取り除くためには、的確な点検が必要とされています。

糸魚川市が管理する「公園」「保育園、幼稚園」「小学校」等の遊具について、どのように維持管理を行っているか伺います。

2 糸魚川市役所における喫煙所の適正な位置について

【答弁者：市長】

平成30年7月に「健康増進法の一部を改正する法律」が成立し、令和元年7月1日から第一種施設として区分される学校や病院などの、子どもや患者などが主として利用する施設や、行政機関の庁舎などにおいては、敷地内禁煙が義務づけられ、令和2年4月1日に法律が全面施行されました。この法律は望まない受動喫煙の防止を目的としており、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権原を有する者が講ずべき措置等について定めるとされており、公共の場における喫煙の規制を強化す

質 問 事 項

る内容となっております。

公共の施設における喫煙の制限では、特に子どもや患者等に配慮が必要とされ「学校、児童福祉施設」「病院、診療所」「行政機関の庁舎」等の第一種施設では、多くの人が利用する施設において、原則として喫煙を禁止することが定められています。健康増進法の一部を改正する以前は、糸魚川市役所庁内にも喫煙所が設置されていましたが、令和元年7月1日の施行から市役所及び市民会館等の敷地内において、原則禁煙の措置が取られてきました。

また、この法律では、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置が取られた場所に喫煙場所を設置することができるとなっております。現在の糸魚川市役所において喫煙できる場所は、ありません。市役所職員はもとより来庁者、市民会館利用者等の現状を鑑みれば、喫煙できる場所の設置が必要と感じます。市の方針や条例に基づき適切な場所に設けられ、周囲への配慮が求められる現状をどのように捉えているか、糸魚川市のお考えを伺います。

⑨ 新 保 峰 孝

1 人口減少・少子高齢化対策について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 日本の人口が減少し続け、糸魚川市においても人口減少、少子高齢化が進んでいるが、原因をどのように考えているか。
- (2) 人口減少が進む中で岡山県奈義町のように、人口を維持するために子供を産み育てる環境づくりとしての子育て支援施策、住む環境づくりでの住宅施策、魅力ある教育、働く環境づくりとして子育て世代の柔軟な就労の場づくりに取り組んでいる自治体もある。子育て世代の視点、高齢者の視点等、町民の視点を大事に取り組んでいるのではないかと思うが、このような施策についてどのように考えるか。
- (3) 当市の子育て支援策の一つとして、子育て世代の視点で学校給食費の無料化を検討すべきではないか。
- (4) 高齢化が進む中で、自動車運転免許返納後の移動手段をどのように考えているか。
- (5) 年をとっても、病気になっても、市内のどこに住んでいても安心して暮らせるまちづくりの視点から、公共交通網等の維持をどのように考えているか。

質 問 事 項

2 入札改革について

【答弁者：市長】

- (1) これまでの入札制度改革と入札制度の現状をどのように捉えているか。
- (2) 予定価格と落札額、落札率の現状、あり方をどのように考えているか。
- (3) 入札が適正な競争となるよう入札制度改革を進めているか。
- (4) 落札後、下請けに出すことをどのように考えるか。落札後の状況を把握しているか。
- (5) 入札制度が、企業グループ等に有利であるようなら改善すべきではないか。

3 地域医療構想と糸魚川市の医療について

【答弁者：市長】

- (1) J A新潟厚生連病院の経営赤字問題は、厚生連だけでなく県立病院も同様であり、安倍内閣以降の医療費削減を求める国の政策に起因する。日本はOECD(経済協力開発機構)加盟 38 か国中の医師数では 34 位となっており、先進国の中では、医師の少ない国となっている。
新潟県の医師数は、人口 10 万人あたりでは 47 都道府県中最下位クラスだと思うが、国の医療政策をどのように捉えているか。
- (2) 新潟県では医師の絶対数が足りないため、医療の必要度が高い高度救命救急医療の病院に医師の集中が起きている。その結果、新潟市、長岡市、上越市、新発田市などで医師の増加、他の市町では減少していると言われている。どのように捉えているか。
- (3) J A新潟厚生連病院の経営再建に関連して、糸魚川市内の医療体制が弱体化することは避けなければならないと考える。どのようにお考えか。
- (4) 交通網が分断される災害時において、医療確保が重要になると考えるがどのようにお考えか。
- (5) (仮称)上越・糸魚川沖地震ではどのような被害想定となっているか。また、どのような体制で対応するか検討されているか。

⑩ 加藤康太郎

1 新しい「県立高校の将来構想」について

【答弁者：市長、教育長】

策定当初の予測を上回る急激な人口減少に加え、不登校児童生徒数の増加、広域通信高校への進学者増加などに見られる生徒の学習ニーズの多様化、遠隔教育の取組推進など、県立高校を取り巻く環境が大きく変化しており、新潟県教育委員会では、来年度からの10年間を対象にした、魅力と活力ある学校づくりの中長期的なビジョンである、新しい「県立高校の将来構想」の公表を、令和7年3月に早めることとしました。

今後の学校・学科のあり方について、中長期的な計画を検討するため、令和6年11月27日、第6回「県立高校の将来構想」策定有識者会議が開催され、「県立高校の将来構想」の案を示し、この中で、10年後の2034年度には、中学校を卒業する生徒数の推計などをもとにした、適正な県立高校の数や学級数の試算が示され、高校は、来年度の86校から、2034年度には64校へ、県内全体で22の県立高校が減少し、学級は、来年度の314から、2034年度には225へそれぞれ減る（上越エリアで、12学級減の27学級）という試算を明らかにしています。県教育委員会の佐野教育長は、「生徒や保護者、各地域に大きな影響が出るが、教育の質を維持するためにも、ある程度集約していくことはやむを得ないと考えている。県が置かれている状況や将来的な生徒の人数などを各地域で説明していきたい」として、12月5日から、各地域での説明会（当市においては、12月15日開催）やパブリックコメントを実施したうえで、来年2月の有識者会議に再度、案を示すことにしています。

花角知事も、11月28日の定例記者会見において、「このままだと子どもたちの学びを支えていくという意味で難しい」と危機感を示し、「できるだけ地域の身近な所に高校がある環境をつくっていききたいし、通う足への支援も考えなければならない」と話し、令和7年度からの県の最上位計画である「県総合計画」の素案では、児童・生徒数の減少を見据えた教育環境の整備を課題の一つに掲げ、小規模校であっても、デジタル技術を活用して遠隔で授業が行えるような取組が重要だとしています。

また、あわせて、各高等学校において策定したアドミッション・ポリシー等をもとに、中学生が自身の興味関心や適性等を踏まえ、より主体的に高等学校を選択できるようにすることを目指し、令和9年度入学者選抜から新しい制度に変更されます。

当市においては、第3次糸魚川市総合計画において、令和4年度から、市内3高校への地元からの進学者の割合が減少傾向となっていることが課題として挙げられ、施策として、高校の魅力化推進を掲げ、多くの生徒が行きたい、保護者が通わせたい

質 問 事 項

と思う高校を目指して、地域、行政が高校と連携して、地域人材育成のための支援と、市内3高校それぞれの特色を生かした、事業の推進を図ってきましたが、令和9年度から、糸魚川白嶺高校の募集学級数が、3クラスから2クラスとなる見込みです。

- (1) 「スクールミッション」、「新しい普通科」の設置、産業高校の「キャンパス制」の導入、「遠隔教育配信センター」（令和8年度）の開設、「セルフデザインハイスクール」（新たな定時制・通信制）など、多岐にわたる魅力と活力ある学校づくりに向け示された新しい「県立高校の将来構想」（案）についての所見を伺います。
- (2) 「高等学校等入学状況調査報告書」（令和6年11月/新潟県教育委員会刊行）も踏まえ、新しい「県立高校の将来構想」の策定に向けて、新潟県教育委員会と、市内3高校のあり方について、協議・連携をしていく考えはあるか伺います。
- (3) 0歳から18歳までの「子ども一貫教育基本計画（第3期）」の思春期後期（高校生）における推進にあたって、市内3高校の今後の存続が大きく影響すると考えます。新しい「県立高校の将来構想」のもとでも、市内3高校を堅持していく考えは変わらないか伺います。
- (4) 「高校を核とした地域人材育成事業」（総務省の地域おこし協力隊事業を活用した高校魅力化・産学官コーディネーターの配置）について、市内3高校への取組実績と評価（検証）を伺います。
- (5) 新しい「県立高校の将来構想」を進めていくうえで、市内3高校の魅力と活力ある学校づくりを支援・公民連携する「コンソーシアム体制」の構築は必須と考えます。「コンソーシアム体制」の構築・運営のみならず、大学のサテライトキャンパス等の高等教育の誘致（地方創生2.0）も視野に入れた「政策監」、または、「産官学金労言推進企画幹」を採用する考えはないか伺います。
- (6) 糸魚川高校に自習室が設置されましたが、令和4年度の重点施策として、教育の推進で掲げられた「公営塾」開設に向けた取組状況を伺います。

質 問 事 項

⑪ 阿 部 裕 和

1 未満児保育の体制について

【答弁者：市長】

- (1) 未満児保育対象者のうち、未満児保育を希望される件数及び割合と受入状況について、0歳児、1歳児、2歳児それぞれお聞かせください。
- (2) 希望する保育園に入園できない事案がありますが、そういった保育園は何か所あるのか、入園できない理由も併せてお聞かせください。
- (3) 希望する保育園に入園できない事案が起こっていることについて、市としてどのように考えておられるか、見解をお聞かせください。
- (4) 保育士確保へ向けた取組をお聞かせください。
- (5) 保育士の業務改善へ向けた取組をお聞かせください。
- (6) 保育所等の民営化の検討（あり方検討）の進捗状況をお聞かせください。

2 特別養護老人ホームの存続について

【答弁者：市長】

市内には4つの特別養護老人ホームがあり、11月13日に開催された市民厚生常任委員会委員会協議会では各法人・施設の理事長、施設長と現状と課題について共有することができました。

その中で、施設整備の課題、職員に関する課題、経営に関する課題と、大きく分けて3つの課題を抱えていることが分かりました。

これまでも市は各施設に対して支援をしていますが、介護現場を取り巻く状況は今後さらに厳しくなる見通しであり、このままサービスを提供していくことは困難になることが予想されます。

委員会協議会の中では、法人理事長より、今後「統合」についても考える必要があると話がありました。

特別養護老人ホームは終の棲家としての役割も果たしており、介護を必要とする方が安心して生活できる環境を提供することは、家族の負担軽減にもつながり、生活を送るうえで、双方にとって大きな安心感につながっているものと考えています。

運営は社会福祉法人ですが「市民の生活を守る」という点では、市も一緒になって取り組んで行く必要があると考えますが、これから市としてどんなことができるかと考えているか伺います。

質 問 事 項

3 書かないワンストップ窓口の推進について

【答弁者：市長】

- (1) 窓口業務改善に向けた取組の中で、窓口BPRアドバイザーを派遣し改善を図られましたが、どんな内容であったか、また効果はいかがだったかお聞かせください。
- (2) DX推進は推進リーダーが中心となって進めているところですが、業務フローや効率性の向上など、業務改善につながる変革はあったかお聞かせください。
- (3) お悔やみコーナー（お悔みワンストップ窓口）設置後の手続き等で生じたメリット、デメリットについて、利用者側、職員側それぞれお聞かせください。
- (4) 出生ワンストップ窓口設置に向けた試行実施で見えてきた課題をお聞かせください。

⑫ 渡 辺 栄 一

1 観光産業への活性化策について

【答弁者：市長】

当市はユネスコ世界ジオパークに認定されており、ジオパークやヒスイ海岸といった観光資源が豊富と思われている。さらに当市へ誘客させる方策について伺う。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行後、当市を訪れる観光客の動向はどのような状況にあり、また、どのように分析しているか。
- (2) 鉄道の各路線及び大糸線増便バス等の利用状況について、市の評価を伺う。
- (3) 来年4月13日から10月13日まで開催の大阪・関西万博において、ヒスイ原石を展示することのだが、効果的な展示方法の工夫をどのように考えているか。
- (4) 市内スキー場に対して、通年での利用促進策を進めて行くためには、どのような考えがあるか。
- (5) 高浪の池の利用者の動向について、今後の見通しをどのように捉えているか。
- (6) ジオエリアでもある月不見の池は、現状のままでよいと考えているか。
- (7) マリンドリーム能生等を含む道の駅エリアの展望について、どのように考えているか。

質 問 事 項

2 農業を取り巻く環境について

【答弁者：市長】

糸魚川市の自然環境を生かした、農業のブランド化が進む可能性があり、地元産品を高付加価値化し、都市部への販路を拡大する取組が重要と思われる。しかし、一方では、耕作条件の悪い農地では、新たな担い手が見つからない場合や耕作者の高齢化が顕著となっている。市の考えを伺う。

- (1) 糸魚川産のお米について、味や品質をどのように捉えているか。
- (2) 後継者不足や効率化の課題解決に寄与するとされるスマート農業の導入についての課題は何か。
- (3) 販路を拡大させるための方策は、どのようなルートを考えているか。
- (4) 用水管理や畦畔の草刈りの負担軽減策を考えているか。
- (5) 農業所得を上げるにはどのようなことが有効と考えられるか。

3 当市の諸課題について

【答弁者：市長】

- (1) (仮称)「駅北子育て支援複合施設」の建設予定地にある旧東北電力ビルの解体工事は、4回目の入札結果も不調とのことであったが、今後の展開をどのように行うのか。
- (2) 糸魚川総合病院に対して、今後どのような支援を行っていくのか。
- (3) 人口減少と高齢化が課題となっているが、当市の人口減少対策プロジェクトとしては、どのような提言を考えているのか。
- (4) 市内には、高等学校卒業後の進路として、専門学校等の設立が切望されるが、見通しはいかがか。
- (5) 今冬は、降雪量が多いとの予報であるが、消雪パイプの不具合は解消されていると判断してよいか。
- (6) 今後、政府も物価高騰や光熱費等を緩和させる政策を行う予定のようだが、市としての考えはあるか。

質 問 事 項

⑬ 田 原 洋 子

1 教育相談センターと適応指導教室ひすいルームについて

【答弁者：市長、教育長】

糸魚川市ホームページによると、適応指導教室ひすいルームは「不登校状態にある児童生徒に対して、情緒の安定や人間関係等の改善を図りながら、再登校に向けた相談・支援を行っています」とあります。

糸魚川駅日本海口、寺町2丁目にある糸魚川市教育相談センターは、1月1日に発生した能登半島地震で液状化の影響を受け、建物に入ると、床の浮き沈みがあるため、乗り物酔いをしたように気分が悪くなり、駐車場も地面が砂を吹き出したり波打っています。

このため、現在、教育相談センターは立入りが制限され、ひすいルームは令和6年1月から糸魚川市民図書館で開設されています。

隣に体育館があることから運動ができる、図書館で好きなだけ本が読めるというメリットがありますが、図書館は静かな環境であるため、会話や物音に気を使い、図書館の一部を間借りしているという感は否めないと思われま

す。これらを踏まえて、以下の点について伺います。

- (1) 教育相談センターで受けていた教育相談はどこで行っていますか。
- (2) ひすいルームに通っている児童、生徒は何人いますか。
- (3) ひすいルームに通っていた児童、生徒は再登校、進学につながっていますか。
- (4) ひすいルームの糸魚川市民図書館での開設は一時的なものですか。それとも糸魚川市民図書館内に完全に移転する考えですか。
- (5) 図書館内のひすいルームのエリアは、ひすいルームだけが利用できる状態となっていますか。
- (6) 被災した教育相談センターは修繕をするのですか。
- (7) 糸魚川市民図書館の他に移転先の候補の検討はされましたか。
- (8) 糸魚川市民図書館内でひすいルームを開設していることで不都合はありませんか。

2 糸魚川市のキャンプ場について

【答弁者：市長】

糸魚川市は山も海もある豊かな自然を生かして、各所にキャンプ場があり、市外からも多くの方が利用されています。

質 問 事 項

私は 2022 年 6 月定例会の一般質問で「糸魚川市内にあるキャンプ場の料金見直しと予約方法について」取り上げ、料金設定の見直し、ネット予約の導入を提案しました。

農林水産課が所管する、海谷三峽パーク、雨飾山麓しろ池の森、不動滝いこいの里キャンプ場は今年度から試験的に「キャンプ場環境維持協力金」という形でテント 1 張り 500 円、利用者 1 人 100 円を鉄製のボックスに投入してもらう形を導入しました。

これらを踏まえ、キャンプ場について、その後どう検討され、改善されたのか、以下の点について伺います。

- (1) 美山キャンプ場の担当課を生涯学習課から、クラブハウス美山を管理している商工観光課へ移管と、ネット予約は検討しましたか。
- (2) ヒスイ峡キャンプ場のネット予約、ヒーリングガーデンたかなみの携帯電話の電波は入るようになりましたか。
- (3) 海谷三峽パーク、雨飾山麓しろ池の森、不動滝いこいの里の「キャンプ場環境維持協力金」はどのくらい集まり、使い道はどのようにしますか。
- (4) 不動滝いこいの里キャンプ場の盛り土が今のテントより小さく、微妙に斜めになっていてテントを張りにくい。トイレの目隠し塀があるが、男性が用を足している後ろ姿が見えてしまうのは改善すると答弁がありましたが、現状はどうか。
- (5) 不動滝いこいの里キャンプ場の池が埋め立てられたのは何故ですか。
- (6) 荒崎キャンプ場の水はけのよくないサイト、サイトの番号が分かりにくい、野生動物が荒らす被害について、管理はどのように改善しましたか。
- (7) 高ノ峰プラトーがリニューアルオープンしましたが、どのようにリニューアルされ、利用者数や評判はどうか。

3 各地区の交流と活性化について

【答弁者：市長】

毎月発行されている公民館だよりは、各地区内に全戸配布され、糸魚川市ホームページでダウンロードでき、月ごとに、何が、どこで、何時から開催されているか一覧は出ていますが、公民館を紹介するページに、各公民館が日々の情報発信している SNS のリンク先は掲載されていません。

公民館事業の中には参加者を地区で限定しているもの以外は、どの地区の方でも参加できるものがあり、西海地区公民館「ふるさとウォーク」や、上早川地区公民館の「不動山ハイキング」、下早川地区公民館の「越後八十八か所めぐり」のように、地区外からの参加者が多い人気の事業もあります。

また、中学校が統廃合されたことで、それまで中学校の文化祭で展示されていた地

質 問 事 項

区の皆さんの作品を発表する場所がなくなり、地区文化祭として公民館で開催されている地区があります。作品を展示されている方は、地区の方はもちろん、地区外から多くの方が観に来られることが作品へのモチベーションとなり、地区外にも同じ趣味を持つ仲間ができる利点もあります。

公民館だけではなく、地域おこし協力隊、集落支援員、地域づくりプランと、様々な角度の地域活動があり、公式LINE配信、SNS更新と情報発信に力を入れている地区もあります。

地区それぞれの活動が糸魚川市全体の活性化につながるのではないのでしょうか。

これらを踏まえて、以下の点について伺います。

- (1) 各公民館のページに、公式SNSをリンクすることはできませんか。
- (2) 糸魚川市ホームページの「地域の活動紹介」のページにリンク切れや、ページ管理者の交代などで更新されていないアカウントがありますが、最新の情報ではないのは何故ですか。
- (3) 各イベント参加をネット予約できるようにできませんか。
- (4) 地域づくりプランで発行した冊子をフォッサマグナミュージアムなどで販売はできませんか。

質 問 事 項

⑭ 古 畑 浩 一

1 市内中学校いじめ事件に対する学校現場及び教育委員会の対応について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) いじめ・不登校の推移と現状。対応はどうか。
- (2) タブレット紛失事件に端を発した一連のいじめ事件の概要と教育委員会、学校側の対応に問題がなかったか。
- (3) 総務文教常任委員会では、重大事態ではないと報告されたが、一転、重大事態とされ追加調査とされたが、その経緯と現状についてお聞かせください。

2 旧東北電力ビル解体工事4度の入札不調はどういうことなのか

【答弁者：市長】

- (1) 不調の原因は何か。
- (2) 本年6月議会で当初見込5,600万円を9,800万円に大幅増額したのになぜか。
- (3) 総務文教常任委員会では、解体工事の増額補正は行わないと市長は明言されているが信用していいのか。
- (4) 駅北子育て支援複合施設の建設日程に支障ないか。また建設費、年間維持管理費等、増額のおそれはないか。

3 市長選出馬について

【答弁者：市長】

来春、行われる市長選挙について、12月になっても進退を明らかにしないのは、余りにも無責任と思われまます。進退を明確にすべきと思いますがどうか。